

### PCB 廃棄物の分解処理サービスが始まります。

(平成 17 年 6 月 日本環境安全事業株式会社)

PCB の製造や新たな利用が昭和 49 年に禁止されて以来、紛失や漏洩などの事故が発生し PCB による環境汚染が懸念されていました。平成 13 年に『ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB 特別措置法)』が制定され平成 28 年 7 月 15 日までに処理することが義務づけられました。

この PCB 特別措置法を受け平成 16 年 4 月に 100%政府出資により、『日本環境安全事業株式会社(JESCO)』が新たに設立され、同年 12 月から分解処理サービス(北九州市)が開始されました。

JESCO の PCB 廃棄物処理設備は全国 5 箇所、北関東・甲信越以北の地方は北海道室蘭市に設置されるプラントで平成 18 年 10 月から分解サービスが行われる予定です。現在、依頼の混雑を避ける為、早期登録・調整協力による料金割引が行われています。

PCB の処理料金はトランス・コンデンサ類について料金表が配布されており、事前におおよその処理料金を調べることが可能です。また、漏洩防止のためにドラム缶などの密閉容器で保管していた場合、保管していた汚染容器も別料金にて処理してくれるそうです。

現在の分解処理サービスは高濃度の PCB 廃棄物に限定されており、低濃度 PCB 廃棄物は高濃度 PCB 廃棄物処理後に対応されるそうです。

### LC/MSを導入しました！

弊社は、水道法に定められた、水質管理目標設定項目の農薬類 101 項目の対応と高度化する分析市場への対応、高品質な分析サービス提供の為、従来の高速液体クロマトグラフィー(HPLC)の検出器部分に質量分析装置を搭載した高速液体クロマトグラフ質量分析計『LC/MS』を導入・稼働しました。



LC/MS は、ガスクロマトグラフ質量分析計(GC/MS)や高周波プラズマ質量分析装置(ICP/MS)と同様に、今後の分析業務の主力を担う分析装置です。

極性の高い水溶性の化合物や気化しにくい化合物は、従来の GC/MS での分析において特殊な前処理を行わなければならない困難な分析でした。

今後、水道法の農薬分析に留まらず、食品中の農薬分析や栄養素の分析、特殊分析に力を発揮する分析装置です。

詳しい資料・説明を希望の方は、弊社環境科学センター研究開発室 柿沼範洋または営業担当までご連絡下さい。

#### 業務内容

調査・分析・測定部門(水質・大気・土壌・食品・環境アセスメント)  
プラント・工事・メンテナンス部門(排水処理・用水処理・各種メンテナンス)  
水処理薬品部門(ホーライン・空調・化学洗浄関連薬品他)  
環境保全機器部門(滅菌・ろ過装置・各種測定計測器 他)



本社は環境マネジメントシステム ISO14001の認証取得事業所です

環境科学センターは品質マネジメントシステム ISO9001:2000の認証取得事業所です